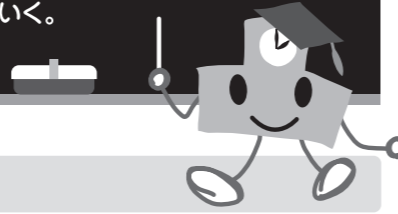


# 地域と協働で行う清掃活動が子供たちの視野を広げていく。

地域で行われたプログラムに参加したことがきっかけで、自分たちのまちの環境を見直す。「地域」というフィールドは子供たちの視野を広げていく。



## 内容 アダプトプログラムを活用した地域清掃

平成17年度に西区役所主催で行われた、琴似屯田兵130周年記念イベント「かがやけコトニ～屯田兵の里まつり～」の一環で、西区アダプトプログラムに調印したことから、3～6年生が年6回程度(3、4年生=年2回ずつ、5、6年生=年1回ずつの計画)、地下鉄の駅がある通りの清掃活動を行っている。総合的な学習の時間を使い、各学年の保護者ボランティアの

方たちとともに通学路や近くの公園を清掃し、環境を守る意識を高めている。この活動をとおして、自分たちが住んでいるまちの環境を見直し、誰にとっても住みやすい環境づくりをすることで、地域への貢献の気持ちが芽生え、さらに地域や環境を守っていくためにできることがないか、考えるようになった。

## 効果 「自分の周り」から「自分たちの住むまち」に 広がる環境意識

清掃活動をすることで、子供たち自身が「自分たちのまちを、自分たちの手できれいにする」という意識が生まれている。環境への興味が「自分の周り」から「自分たちの住むまち」へと広がり、意欲的に取り組んでいる。

「自分の周り」という気持ちにならないように、子どもが目的をしっかりと意識して取組めるよう考えていきたい。

しかし、生徒数が減ってきており、活動できる範囲が限られてしまうことが課題である。保護者のボランティアを増やすなど地域の協力も検討している。時間も限られているため、準備を効率的に行うなどの調整・改善が必要であり、コースやスケジュールの調整、安全確保など配慮する点も多い。また、子供たちが「やらされ



清掃活動のようす

広げよう  
つなげよう  
環境学習の輪

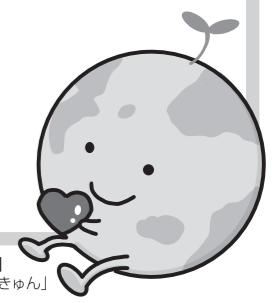
実施校から  
メッセージ

子供たちがたくさんの人たちと関わりをもつことで、一人一人の違いに気付き、時には衝突し、時には協力し合い、自己主張したり我慢しながら、大きな社会の中の自分の存在価値を見出すきっかけになっていると思います。

9月には「ふれあい遠足」という「たて割りグループ」による活動を行いました。ふれあい委員会の5、6年生児童が中心となり、安全面に配慮しながら、事前に計画した様々な遊びをしました。低学年は高学年の姿を見て、他人を思いやる心などを楽しみながら学び、高学年は自分のためだけではなくほかの学年や仲間のために、一生懸命取り組んでいました。

また、本校では「地域に開かれた学校」を目指しており、その一環として、1階の空き教室を地域の皆様に開放しています。これからも地域とのつながりを大切に、子供たちや地域の方々とともに成長していきたいと思っています。

# MEMO



未来の札幌を見つめる【環境】  
イメージキャラクター「ちっせゅん」